

学生・保護者説明会に係る Q&A 総論

この度は対面授業再開に向けての説明会を視聴いただきありがとうございました。また、内容について多くのご意見やご質問をいただきました。このことにも感謝申し上げますとともに、ここに Q&A のページを開設して回答を記載させていただきます。なお、内容が個人情報にかかわるご質問につきましては個別にメールにて回答申し上げます。

今回は、動画配信ということで、対面授業再開時の本校の行動指針に的を絞って簡潔な情報発信を心掛けましたが、ここに至ります経緯や今後の方向性についての情報についてもご要望がありましたので、個別の回答に先立ち、当該内容について触れさせていただきます。

本校では新型コロナウイルス感染症拡大下、首相が発信されました「学校の一斉休業要請」を受ける形で2月29日より対面の活動を休止いたしました。その後、「学びを止めない」決意を以て5月7日より8月7日まで遠隔授業により教育の場を継続してまいりました。この度は、遠隔授業の終了に際し、対面授業再開に向けた取り組みについて、学生、保護者の皆様と情報を共有する機会を設けさせていただいた次第です。この間、遠隔授業に関するアンケートを何度か行い、遠隔授業に対する評価も徐々に高まっていく手ごたえを実感しましたが、一方で、対面授業の再開を望む声も多くなりました。教員側からもこのままでは、高専教育の根幹である「手足を動かして体得する実験や実習」の機会が失われることへの懸念も寄せられました。文部科学省も感染症対策として学校運営を柔軟に行うことは推奨されましたが、卒業要件を緩和することは認めず、規定時間の不足や必要最小限の実験・実習なしに単位を認定することはできません。そこで、特に学年の後の無い卒業研究や次の学年の基礎となる実験・実習等につきましては、6月より分散登校の試行という形で実施してまいりました。しかし、遠隔地在住などのため登校できない学生の皆さんにはご不便やご心配をおかけすることとなりました。また、遠隔と対面を共存させると登校時間がロスとなりました。このように、分散登校も万能の解決策ではありません。

また、高等専門学校では高校生年齢相当の学生の皆さんをお預かりしており、成長期の青少年独特のメンタル面でのサポートや人間力を醸成する指導が不可欠です。また、高学年生の皆さんには卒業研究や目前に迫った進路のことなど日ごろからコミュニケーションをとる必要があります。入学以来一度もキャンパスに来たことのない1年生諸君には対面での臨時学年集会を開くなどの努力を重ねてまいりましたが、やはり遠隔での指導には限界がありました。

このような経緯から、5月の緊急事態宣言の解除以降、前学期講義につきましても8月末から補講期間を設け、特に実験や実習を中心に対面で全面的な授業を行い、加えて定期試験を実施する方向で準備を進めてまいりました（5月29日校長メッセージ）。残念ながら7

月後半から感染者数が増加傾向になり、愛知県では独自の緊急事態宣言を発出するに至っています。しかしながら、国、県ともこのことを以て学校活動を休止する判断はおこなっておらず、一部公立校では緊急事態宣言発出中であっても第2学期は開始される予定です。もちろん、感染症対策を重視して社会活動を停止するか、経済活動を優先して社会を動かすか、国論を二分する議論であることは承知しておりますが、感染症発生状況を踏まえた国や県の判断、県内の高等学校や近隣の高専の状況を総合的に判断して、できる限りの感染症拡大予防措置を講じたうえで、予定どおり対面授業を再開することといたしました。前項の理由により近隣の一部の大学のような通年遠隔講義は回避したいというのが本校の考え方です。

ただ、説明会でもお示ししましたように、学校を再開する以上は、できる限りの感染症対策を取るにしても、感染のリスクをゼロにすることはできません。重症化リスクの高い学生の方には、その旨申請いただければ危機管理室において対処を検討いたします。特に寮における集団生活には不安を感じる皆さんも多いと思います。実際、高校サッカー部の学寮における大規模クラスター発生報道も記憶に新しいところです。入寮選考結果にかかわらず、入寮を強制するものではないことを申し添えます。今回の事態は、通常の事故や災害と異なり“復興”の目途がない、先の読めない難しい取り組みであることを実感しているところです。後学期になれば、あるいは年度が変われば安心といったものではありません。症状のない隣の人がウイルスを持っているかもしれません。今後も波状の感染拡大の可能性は十分にあります。こうした事態に国または自治体から緊急事態宣言が発せられその中で、学校の休校を要請された場合は直ちにこれに従い、遠隔授業に切り替えます。そのため遠隔授業設備の高度化も急いで進めます。また、万が一、本校で感染が確認される事態になりましたら、自治体、保健衛生管理当局のご指導に従い、遅滞なく消毒のための臨時休校や、学級閉鎖、より長期の休業を実施することといたします。

最後になりますが、今回ガイドラインを作成し、さまざまな行動制約を設けました。しかし、すべてを網羅することは不可能です。学生の皆さんからは「下宿した場合の行動制約はどうなるのか」などガイドラインに記載のない個別案件の質問も寄せられています。重要なことは「感染拡大を抑制するためには個人として何をなすべきか」を十分理解し、自身のみならず大切な家族や仲間そして社会を守るために必要な行動を取ることです。これは技術者倫理とその危機管理にも通じる大切な技術者としての資質です。学生諸君には、ガイドラインに記載され強制されたことだけを順守するのではなく、新しい生活様式として何をなすべきか、なすべきでないかを自ら考え、正しく判断し、行動に移すことで、感染拡大防止に貢献してください。

以上、これまでの経緯と今後の考え方とさせていただきます。こうした前提で、以下の個別回答をご覧ください。幸いです。

学生・保護者説明会に係るQ&A一覧

No.	質問・提案内容等	回 答
1	<p>今回の判断は不満を持っている学生が沢山存在。 各クラス代表学生をまじえて、夏休み明けからの学校再開について、また学寮の運用法について意見交換をする場を要望。</p>	<p>対面授業の再開・寮運営等について積極的な提案を歓迎します。福利厚生会館入口に意見箱を9/18まで設置しますので、意見や提案がある場合は投書ください。本校危機管理委員会で検討します。</p>
2	<p>ここまで休みにしておいて、こんなにコロナが流行っている今、学校を再開させるのですか？ 寮や学校内でのクラスターが増える今再開させるのはいい判断に思えません。私は寮生活をする予定ですが正直怖いし、規制が多く計り知れないストレスが予想されます。</p>	<p>愛知県内の感染症発生状況、愛知県内の高校及び近隣国立高専の対面授業の再開等を総合的に判断し、本校においても感染症対策を徹底し、対面授業を再開することとしています。</p>
3	<p>一般的なコロナウィルス対策に終始しており、これはこれできちんと発信することは大事ですが、緊急事態宣言から在宅オンライン授業に入り、現状がどのようになっているのか、そして対面授業開始するもの今後再び状態が悪化したときを見据えて豊田高専としてはどのような対応方針をとっていくのか。 こんなところのお話しが全くなかったことが非常に残念でした。</p>	<p>学生・保護者説明会は、これまでの本校の対応状況と対面授業再開に向けての準備について行わせていただきました。現状認識等については冒頭の総論もご参照ください。ご心配されるように状況が悪化する場合も想定した方針も並行して検討しております。</p>
4	<p>オンライン学習を続けてほしい。 寮生活について、たくさんの対策を講じているが、新型コロナウイルスが寮内で蔓延しないという保証はない。</p>	<p>実験、実習、測量、製図、体育など遠隔授業（オンライン授業）では対応が困難な科目があり、かつ小テストや定期試験を実施するために、感染症対策をとった上での対面授業の再開が必要と判断させていただきました。 ご指摘のとおり、対策を講じて学寮を運営したとしてもゼロリスクとすることはできません。そのため感染防止策だけでなく、寮生ひとりひとりの感染予防の心がけも非常に重要となります。ご協力をお願いいたします。</p>
5	<p>入寮選考に落ちた者です。（大祖父母までの家族と同居、保育園の妹あり） 通生をして、どこかでウイルスを拾ってきたら…と不安。 学生は無症状感染が多いかもしれませんが、その家族への感染についてはどのように考えているか？ このような状況下で対面授業再開を考えられるのは早いと思います。</p>	<p>実験、実習、測量、製図、体育など遠隔授業（オンライン授業）では対応が困難な科目があり、かつ小テストや定期試験を実施するために、感染症対策をとった上での対面授業の再開が必要と判断させていただきました。 入寮選考につきましてはご希望に添えず申し訳ございません。入寮候補者は当初のお知らせどおり学年の区別なく通学困難度が高い順に選考させていただきました。公共交通機関を利用している通学にご不安はあるかと存じますがご理解くださいますようお願い申し上げます。</p>

6	<p>新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、以下を提案。 通学するのに非常に時間がかかってしまう（片道2時間以上の）学生のみを最小限入寮させる。 どうしても対面授業が必要だと思われる一部の授業が行われるときのみ学生を登校させる。</p>	<p>実験、実習、測量、製図、体育など遠隔授業（オンライン授業）では対応が困難な科目があり、かつ小テストや定期試験を実施するために、感染症対策をとった上での対面授業の再開が必要と判断させていただきました。 入寮候補者は当初のお知らせどおり学年の区別なく通学困難度が高い順に選考させていただきました。寮生数を削減すれば寮内における感染のリスクや万一の場合の感染拡大を最小限に抑えることができますが、その反面、通学時間の長い学生が増えることで、通学途上における感染リスクを負う学生が増加してしまいます。そのため感染防止策をとった上でできるだけ多くの入寮希望者が入寮できるよう選考させていただきましたのでご理解願います。</p>
7	<p>オンライン授業をメインに進め、前期よりは登校の機会を増やし実技等を行う。 コミュニケーションをとることができるような新しい授業の形式を検討していただきたい。</p>	<p>実験、実習、測量、製図、体育など遠隔授業（オンライン授業）では対応が困難な科目があり、かつ小テストや定期試験を実施するために、感染症対策をとった上での対面授業の再開が必要と判断させていただきました。 授業の形式（方法）については、引き続き検討してまいります。</p>
8	<p>今のオンライン授業の継続はないのか？（無症状の感染者がいた場合クラスターが発生するリスク、通学する学生が公共機関を利用し感染するリスクも考えられる） 実技、実習、課題等の提出に関しては少人数で時間をずらし行えればよいのでは？</p>	<p>実験、実習、測量、製図、体育など遠隔授業（オンライン授業）では対応が困難な科目があり、かつ小テストや定期試験を実施するために、感染症対策をとった上での対面授業の再開が必要と判断させていただきました。 国あるいは自治体のリスク判断から休校要請が発出された場合は遅滞なくオンライン授業に切り替えます。 実験等の方法については、引き続き検討してまいります。</p>
9	<p>遠隔授業という選択肢があるのになぜ有効活用しないのか？ （大学は後期も遠隔という学校が多い。高専は今回は高校と同じ対応をするのか？） 前期はこのまま遠隔授業のみとし、後期も基本は遠隔を要望。 基本は遠隔で行ってほしい。 時間割を調節し、登校するクラスが被りすぎないようにする。 その上で実習や実験のため、週1-2日のみの登校を希望。</p>	
10	<p>私は離島という通学が絶対に困難な土地で暮らしている。 社会情勢なども考えつつ、万全の対策をとる中でも学生に寄り添った対応をしていただきたい。 対面授業再開および開寮を延期するという判断を希望する。</p>	
11	<p>学校の提示した対策案では不安なため、遠隔授業対応して頂きたい。 （持病等なくても、自粛させて頂きたい。）</p>	<p>実験、実習、測量、製図、体育など遠隔授業（オンライン授業）では対応が困難な科目があり、かつ小テストや定期試験を実施するために、感染症対策をとった上での対面授業の再開が必要と判断させていただきました。 冒頭の総論をご参照ください。</p>

12	遠隔授業を始めた時よりも感染者が多いが、なぜ対面授業を再開するのか？	
13	国立私立大学では、後期も遠隔授業を継続する大学がありますが、豊田高専は、どうして遠隔授業では学びの保証が出来ずに学びが止まってしまうのか？	
14	学年ごとに日程を分け、クラス内でもいくつかの教室に分けて登校して実施することを要望	
15	対面授業を再開するのであれば、遠隔授業可能なものは遠隔授業を継続しながら、分散登校やクラスを半分に分けての授業実施などさらなる感染防止策を採った上で対面授業を再開していただきたい。	学年ごとに日程を分けることは検討していますが、現状では全学年一斉に対面授業が再開できると考えています。6月から分散登校を試行しましたが必ずしも効率的な学校運用には至っていない状況があります。
16	感染時、帰宅させるとのことだが（帰宅した場合）授業のフォローはあるか？	
17	○体調不良等の場合の登校停止時 学生の学びの保障として、オンライン授業等を、対面授業再開と同時に実施してほしい。（他高専にて実績有）	
18	平時では、登校できていた健康状態であっても今後は登校が出来なくなる場合がある。 当該生徒への「学びの保証」「学びを止めない」ために対面授業と並行して遠隔授業を配信いただくようにご準備していただきたい。	出校停止の措置をとった場合は、可能な限り遠隔授業（オンライン授業）を視聴できるような対応をとらせていただきます。
19	自宅待機時の授業のリモート聴講について 感染の疑いなどで自宅待機となった場合、リモートで授業を聴講することは可能でしょうか。 もし、予定していないのであれば、ご配慮いただければ幸いです。	
20	登校免除によって対面授業を受けない場合、その授業の代替はあるか。	出校停止や登校免除の装置をとった場合は、可能な限り遠隔授業（オンライン授業）を視聴できるような対応をとらせていただきます。
21	「状況に応じて遠隔授業を延長する可能性がある」としているが、現在愛知県に緊急事態宣言が発令されて尚、対面授業化を再開する予定か？	愛知県の緊急事態宣言の内容は「不要不急の行動自粛・行動の変容」, 「県をまたぐ不要不急の移動の自粛」, 「感染防止対策の徹底」であり、学校の閉校は要請されていません。また、対象期間は8月24日（月）までとされています。感染症対策をとった上で対面授業を再開させていただきます。

22	<p>結論が出たのは緊急事態宣言発令前なのか否か？ 前であれば今後この結論を変えることはないのかどうか？ 後であれば尚更なぜこのような判断をしたのか？ (愛知県に緊急事態宣言が出された中、この状況において通常授業を再開させるのは無理があると感じる。)</p>	<p>愛知県の緊急事態宣言の内容は「不要不急の行動自粛・行動の変容」, 「県をまたぐ不要不急の移動の自粛」, 「感染防止対策の徹底」であり, 学校の閉校は要請されていません。また、対象期間は8月24日(月)までとされています。</p>
23	<p>発熱等で登校不可でもテストや実習には行かないといけないような説明を見て驚いた。 周りの学生に感染してもいいのか？</p>	<p>発熱等による出校停止の場合は、テストや実習でも出校しないでください。回復後に追試等で対応させていただきます。</p>
24	<p>全校学生と保護者を対象にアンケートを希望。(前回アンケート時から意見が変わった学生が多いと聞いた。) ・ 後期からの授業の在り方 ・ こうよう祭の可否</p>	<p>福利厚生会館入口に意見箱を9/18まで設置しますので、意見や提案がある場合は投書ください。</p>
25	<p>○長時間の通学を余儀なくされる学生 毎日の通学時の負担を少しでも減らすため、教室内の小さなロッカーだけでなく、学生に、ひとりずつの十分な荷物保管場所を確保していただきたい。 必要最低限のもののみ 持ち運ぶことで、通学の負担が多少なりとも減ることになればと期待している。(本来予定されていた学生たちの入寮が可能となるまでの間で可)</p>	<p>現在、教室内にあるロッカーのサイズはW26×D49×H53cmです。このロッカーは各自で鍵が付けられます。</p>
26	<p>座学学習の場合のソーシャルディスタンスの確保は、着席する場所を指定等するの予定でしょうか？</p>	<p>人数の多いクラスについては、教室を広い部屋に変更したり、教室内のロッカーを外部に設置してスペースを確保するようにします。必要に応じて、着席する場所を指定する等の措置をとる予定です。</p>
27	<p>授業開始時間を満員電車の時間帯を避ける等の検討は可能でしょうか？</p>	<p>授業開始時間を9:00から9:15に変更します。昼食時間の確保や帰宅時間を考慮すると、これ以上授業開始時間を遅らせることは現状では困難であると考えています。</p>

28	本科通学生は、昼食時に食堂を利用できるか？できるとしたら、どのような形態か？	<p>食堂は、1階が寮生専用食堂、2階が通学生や教職員が利用する一般食堂になっています。</p> <p>売店、一般食堂は9/7に再開の予定です。売店、一般食堂では、現金以外に交通系ICカードが利用できます。</p> <p>弁当類を持参あるいは通学途中に購入して教室等で食べる通学生もいます。</p>
29	通生は昼食時に食堂の利用は可能か？	
30	9/30までは昼食の時間が長く設定されているとのことだが、学校の食堂を通学生が昼食に利用することは可能か？（密にならないよう交代で利用するという意味か？） お弁当や外で購入して持っていく必要はないか？	
31	一般食堂は使えるか。	
32	昼食の対応について 通学生の昼食は、弁当を持参するか購買、あるいはコンビニで弁当を購入するしかないのでしょうか。 寮生用の食堂が解放されるのでしょうか。	
33	課外活動のレベル1から3は何を基準に判断するのか？	<p>説明の図のレベル1～3は学校全体の危機管理のレベルです。（この図は、HP掲載の「（学生用）新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」p.2の図の一部です。）対面授業が行えない状況下では課外活動は禁止です。課外活動実施の可否は、近隣の学校（県立高校や豊田市内の学校など）の状況を参考にして総合的に学校で判断します。</p>
34	「課外授業について」のスライド（動画25:40～、添付図参照）の図にあるレベルで、1と2の違いが無いように見えるが違いはあるのか？	
35	下宿生の行動制限はどうするのか？ どうしても食事の買い出しには出かけますし、制限する人間がいないので、好きなように外出できてしまう。	下宿生に限らず、学生の皆さんに「新しい生活様式」を守って生活するように指導します。
36	寮生が原則バイト禁止とのことですが、通生のバイトは可能でしょうか？また、コロナ感染の懸念からバイトを禁止しているようであれば、バイトをしてもらったほうが、学生が遊びまわらずにコロナ感染の懸念が小さくなるのでは？と考えますがいかがでしょうか？土日遊び回る事の方が、リスクがたかいかいでは？と考えてしまいます	<p>本校では以下の対応となっています。（参考：学生便覧P102「アルバイト」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年生は原則禁止。 ・ 3年生以上は保護者の同意の上、アルバイト届の提出が必要。 ・ 学習に差し支えない範囲とし22時以降にわたるものはさけること。 <p>これに加え寮生については「学寮特別ルール」によりアルバイトを原則禁止しています。</p> <p>「（学生用）新型コロナウイルス感染症対応マニュアル P16」 https://www.toyota-ct.ac.jp/information/27008/</p> <p>外出にともなう新型コロナ感染のリスクがあることを踏まえて、御家庭内で御相談の上、対応願います。</p>

37	<p>8月30日（日）の入寮時、1年生は9:15から12:00が荷物搬入となっており、昼食は各自で用意とあるが、学内ではなく、家族と外へ食べに出てもよいのか？ （午後から）足りないものがあれば、学外に買いに出てもよいのか？</p>	<p>荷物搬入後は自由時間となりますので食事を外でとられたり、日用品の買い出しをしていただいて結構です。 なお、16時00分からアゼンブリ（寮生への連絡会）がありますので15時30分頃までには帰寮してください。</p>
38	<p>週末の帰省は当面の間自粛とのことでしたが、どれくらいの期間を想定しているか？ （冬服は持参させた方がよいのか？）</p>	<p>地方自治体が発する感染症の警戒レベルに応じるため期間は未定です。 週末の帰省については制限を設けておりません。（平日に帰省する「臨時帰省」は制限を設けております。）帰省を控えていただきたいのは事実ですが、1年生は初めて親元を離れた生活を送り、不安に思われる方も見えるかと思えます。ご自宅でフォローをお願いいたします。 なお、帰省をされる際はなるべく公共交通機関を使用せず、保護者の方が車で送迎いただく等のご協力をいただけると幸いです。また、帰省時における不要不急の外出（大人数での会食、不特定多数が集まる娯楽施設への出入り、感染者が多い地方への移動等）については自粛いただくようお願いいたします。</p>
39	<p>動画ではできるだけ外泊は控えるようにとのことだが、土日の帰省もこれに該当するか？</p>	<p>週末の帰省については制限を設けておりません。（平日に帰省する「臨時帰省」は制限を設けております。） ただし、帰省時における不要不急の外出（大人数での会食、不特定多数が集まる娯楽施設への出入り、感染者が多い地方への移動等）については自粛いただくようお願いいたします。</p>
40	<p>島根県の学校内でサッカー部員の多くがコロナウイルスに感染するという事態が起きた。 豊田高専の寮内での感染対策として動画で説明されていた内容と似ている部分が数多く見られた。 寮内で多くの感染者が出たという前例を踏まえて出した結論をもう一度考え直していただきたい。</p>	<p>対面授業の開始にあわせて予定どおり開寮いたします。 ご指摘のとおり、対策を講じて学寮を運営したとしてもゼロリスクとすることはできません。そのため感染防止策だけでなく、寮生ひとりひとりの感染予防の心がけも非常に重要となります。ご協力をお願いいたします。</p>
41	<p>寮生活のマニュアルは感染対策としては妥当と感じた。 ただし学生の立場からすると、このマニュアル通りの生活ではものすごく不安やストレスが溜まる。 帰省ができないため、これまで週末にできていた様々なこと（動画の視聴、オンラインゲーム、テレビの視聴）が不可となることに不満。 せめてインターネット回線を各寮に引くなどなんらかの対応を希望する。</p>	<p>マニュアルに対するご不満やストレスについては重々承知しておりますがご理解いただけると幸いです。 週末の帰省については制限を設けておりません。（平日に帰省する「臨時帰省」は制限を設けております。）帰省をされる際はなるべく公共交通機関を使用せず、保護者の方が車で送迎いただく等のご協力をいただけると幸いです。 3年生以上の学生は所定の手続きを行えばパソコンの持ち込み、無線LANの使用ができますので必要に応じて申請してください。</p>

42	<p>厳しい生活様式になり土日の外出や友人との交流が原則禁止となる中、寮生の娯楽は限定的になると思われる。 多くがネット上での娯楽を好む傾向にある中、寮での強力なFree-WiFiの普及等は検討されているか？ 普及を検討して欲しい。(他の学生からもこの質問はかなり多くあった。)</p>	<p>Free-WiFi設備の設置は予定しておりません。 寮生約390名全員のインターネット環境を構築するには多大な設備更新が必要となり、ただちに整備することはできません。ご理解願います。</p>
43	<p>寮では低学年のパソコンの持ち込みが許可されていない。 帰省が原則禁止され、家に帰れないので寮への持ち込みを許可してほしい。 (低学年のうちから独学でプログラミングを学んだり、勉強のなることをしている人が多い)</p>	<p>低学年(1, 2年生)のパソコン類の持ち込みできません。 しかしながら近年の学習状況の変化から現在見直しを議論しております。 ルールづくりや寮内の消費電力増加の問題もあり、すぐに対応はできませんがお時間をいただきたく存じます。</p>
44	<p>寮生の食事はどうなるのか？ (外出できない、食堂使えない、だとカップ麺ばかりになるのでは？)</p>	<p>金曜日の夕食から日曜日の夕食は事前に食券を購入すれば学寮食堂で食事をとることができます。バランスの良い食事をとるためにもできるだけ食堂を利用するようにしてください。</p>
45	<p>通生の交通費支給はありますか？</p>	<p>交通費の支給はありません。家計に不安がある場合は学生支援係に相談の上、各種補助等を活用願います。</p>
46	<p>いままでの寮生活の就寝時間・起床時間では十分な睡眠がとれない人が多いと思われる。 睡眠は免疫力と大きな関わりがあるが何か配慮するのか？</p>	<p>睡眠時間を7時間以上とるため、23時30分の消灯を守るようにしてください。</p>
47	<p>朝体操はやるのか？</p>	<p>前期(9月30日(水))中の朝体操は実施いたしません。後期(10月以降)は新型コロナウイルス感染症の動向をみて、感染防止策を講じた上で実施を検討しています。</p>
48	<p>最近では、寮学生によるクラスター感染が報告されている。 有効な対処法が確立していない中、対面授業を再開するのは学生の健康についてもリスクが高いのでは？</p>	<p>ご指摘のとおり、対策を講じて学寮を運営したとしてもゼロリスクとすることはできません。そのため感染防止策だけでなく、寮生ひとりひとりの感染予防の心がけも非常に重要となります。ご協力をお願いいたします。</p>
49	<p>現在ニュース等で寮でのクラスターが多数発生しておりますので、不安がございます。 また、疑いのある学生はPCR検査結果がでるまで、寮の一室で待機して頂くことは難しいでしょうか？もし、学生がコロナ感染していた場合その家族にも広がる可能性があり、高齢者や基礎疾患を持った両親、また小さな子どもがいる家庭などは、自分の子供でも、車で迎えに行く事に抵抗があるかとおもいますので、ご検討おねがいします</p>	<p>申し訳ございませんが学寮、教職員は医療機関、医療従事者ではなく万一、発症あるいは症状が悪化した場合に十分な救命措置をとることができないため、学寮で待機いただくことはできません。 また、集団生活の場であり万一の場合にクラスターが発生しやすい環境であることから、軽度であっても風邪の症状(発熱、咳、のどの痛み等)、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)があった時点でお迎えに来ていただき自宅での経過観察をお願いしております。ご家庭の事情等おありかと思いますが他の寮生にも関わりますのでご協力をお願いいたします。</p>